みいけ主婦会

※原稿送り先＝大牟田市不知火町2丁目
三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき＝市内3033・7140　炭鉱　474・528
※責任者＝文教部長　川畑園子

暖い衣類の贈り物
日教組婦人部から主婦会へ

主婦会にいま日教組の婦人部の先生たちから衣類のカンパがぞくぞくと贈られてきている。これからの寒い季節を迎えて感官にかからぬよう体に気をつけて闘つて下さいという、組織労働者だけが知る温い同志の連帯感がひしひしと私たちの体をつつみ、感激で胸が一杯になる先生、さいごまで屈せず闘い抜くことをここにお誓いします。

"何が欲しい……"

忘れもしないあの中労委の不当きわまる「あっせん案」提示、炭労大会での下部討議期間とあわただしい中に、八月二十八日日教組婦人部の先生たちが来山し、その際主婦会と懇談会をもつた。席上婦人部の先生たちから「今一番欲しいのは何ですか遠慮なくいつて下さい」という質問に対して、主婦会から「一番欲しいのは矢つ張り戦力となる金です。だが皆さん達には今でもカンパして頂いていますしもうこれ以上は無理はいわれないと思います。ただ着古したものでもよいから、下着でも何でもよい古着が主婦として今一番ほしいものです」ということがあつたそのご、さいきんになり日教組婦人部からつぎつぎと主婦会宛に小包が届けられている。

これは、あのときの話を日教組の先生たちが実行に移されていることがわかり、主婦会では非常に感激してこの小包を手にしている。小包はいまつぎつぎと送られてきているが、激励の手紙も同封してあり、その中からのいくつかをここに掲げてみた。

心は皆様と一緒です

山梨県敦凰中学校　内藤

日中の暑さはさることながら、朝晩は大変涼しく生活のしよい時期となりました。

三池の皆様お元気ですか。長い闘争も表面だけは終りを告げたようですが、まだまだ真の闘争はこれからだろうと考えます。

皆様方の実情はラジオ、新聞、テレビで見聞きしております。これが日本の労働者の縮図と考えるとき、私たち婦人労働者も人ごとと考えるわけにはまいりません。

場所、方法は違いますが、私たち婦人教師もつねに闘争をつづけて止むひまはありません。生活を守るため、婦人の地位を高めるため子供の幸福のため皆様方と同じ気持ちで毎日を闘つております。しかしながら、闘いとは申しましても、三池の方達のような切実な闘争は経験がありません。母親大会で聞かされた三池の実情は涙なくしては聞かれません。思わずコブシに力が入ります。小中学校の小供さんたちはどんな気持で、どんな生活をしておられるであろうか。何を要求しておるのか、いろいろと考えているうち、羽をもつて飛んで行きたいような焦燥にかられ、じつとしていられません

このたび、山梨の婦人部の部員の提案で、衣服を拠出し互いに苦しみを分け合い、これを通して心を一つにして毎日の仕事に精を出そう、こんな意味で別包をお送りしましたが、よろしく御受納下さい。ほんの気持ですから気持だけお受け取り下さい。

距離は遠くとも心はつねに皆様と一緒です。向寒の折り、くれぐれもお体に気をつけて精進して下さい。

長野から参加した婦人代表（労働会館で）

団結の尊さを知る

山梨県甲府市琢美小学校　島田

秋涼の候となりました。

ラジオ、新聞を通してご奮闘の姿をつぶさに想像申し上げております。大勢の団結する力がいかに尊いかということを痛切に感じました。

私どもも教組の一員としてその後から大いに応援いたしております。どうぞ屈することなく、さいごの勝利まで頑張つて下さい。

粗末なものですが、これをお使い頂ければ幸甚です。

支援を信じて下さい

千葉県銚子市飯沼小学校　宮内

三池の皆様、頑張つて下さい。

日本中のすみずみまで、どこにでも皆様を支援しておる人々のいることを信じて下さい。

少しのものですが何かつくつて送て下さいませ。

最後の勝利を信じる

千葉県銚子市堂里小学校　女教師一同

三池炭鉱主婦のみなさん。

毎日ご苦労様でございます。私どもも毎日のようにラジオで新聞で皆さまの不当な圧力に対する闘争の様子を承つており、心からのご声援を皆さまにお送りいたします

遠く離れておりまして、何のこともできなく申訳なく思います。

郵送の品々は私たちの使い古しではございますが、どうぎんがわりにもと思い集めました。

意のあるところをお汲み下さいまして皆様の生活にお役立て下さいませ。

どうぞ最後の勝利を信じて頑張つて下さい。

力強く闘い抜いて

山梨県甲府市西中学校　末木

三池の皆様

長い間のたたかいで大変でございますね。どうぞ正義のために力づよく生き抜いて下さい。

これは本校の女の先生方のほんとに心ばかりの贈りものでございますが、お便り下されば嬉しく存じます。

明日の幸せのために

山梨県甲府教組　宮川

すつかり秋めいてまいりました三池の皆様には、生活をかけての長い闘いをすごされ、そのご苦労のほどさこそと拝察いたします。

涼風が立ちそめると、一家のすべてをあづかる主婦は、来るべき冬をひかえて何かと気ぜわしいものでございます。家計不如意のなかでは思うに任せぬ点が多々あろうかと存じ、十分なお手助けもできませんが、わずかばかりの心持ちをあらわさしていただきました。苦しさに負けず、寒さにめげず、明日の幸せのためにご奮闘下さいませ。

くれぐれも皆様お体を大切に。

遠い空から祈る

寒さに向う折から、私どものほんのささやかな心づくしを受取つて下さい。そして、ご家族そろつて心も身体も健康でこの冬をお過し下さい。

明るい日がきつと訪れることを信じて正しい努力をつづけましようね。

はるかな空から見ぬ友をしのびつつ一言祈りをこめて書きましたではごきげんよう。

あの敢闘精神で今後も

山梨県中巨摩郡敷島町　教組婦人部一同

三池の主婦の皆さんへ

毎日うつとおしい天気がつづいておりますが、お母さん方お元気でございますか。

長い間の闘い、まことにご苦労さまでございました。はちまき姿の新聞をみるたびに、よくがんばつておられると感謝して参りました。

子供たちの明日のために
首切りのない社会を闘いとろう

綿入をかゝえてピケに行く主人の後姿を見送りながら、四ツ山で久保さんが殺されたあの時も、綿入やオーバを着てみんな涙りに燃えながら自転車で動員して行つたそれを見送つた主婦は、社宅の門にずらりと並び「しつかりがんばつて負けずに頑む」と拍手で送つた。

その後の長い長い闘いの中には苦しさ悲しさ、うれしさ、忙しかつたことなど、いろいろな波を乗り越えて闘つて来た。そしてやむなくのんだあつせん案、どうしても千二百名の方達を復帰させたい気持で、不満と怒りと悲しさが一度におしよせて、流れ出る涙をとめることもできなかつた。心を落つけて、闘いの中から得たものを考えると、会社や、第二組合には、すでに勝つていたし、政府が出て来たばかりに、やむなくのんだあつせん案。しかし労働者として、政府に職業のあつせんまでやらせるということは、今までにかつてないことで、労働者の力というものがこゝまでのびたこと、また、労働者はあまりにも政治闘争に走りすぎたといつていたが、賃金値上げや、生活の向上など経済闘争だけでは、要求を勝ちとるのは出来ないということを、はだ身に感じ、私たち主婦としても政治への関心をふかめなければならないと思つた。

闘いはまだおわつてはいない。今から苦難の道を一歩一歩前進して勝利の日まで頑張つてこそ私たちは闘いに勝つことができる。むじゃきな顔してねている子供の寝顔をみつめ、勝つ日まで頑張ろうね、とお互いに励まし、正しい闘いのためにすなおに協力してくれたこの子供らに、母親として、なにをあたえてあげようかと思つたとき、いつか子供の話に「学校を卒業したら大阪に行つて働くね、大阪には首切りはなかろう」母ちゃん」と聞く子供に胸がいつぱいになり、「今その首切りがないように闘つているからね」と答えた事を思い出し、私たちは親として母親としてこの子供たちに、あたえるべきものは、金や品ではない社会に出たとき、安心して働かれる首切りのない社会をつくつてやるのが、本当の愛情ではないだろうか。いかに金を貯めてあたえても、戦争にかり出されたり、職をおわれたりして、なんで子供が幸せになるだろう。

私たちは、正しい労働運動がしつかり子供たちの幸せにつながつていることを確認し、この闘いの中で母親としてもなすべき責務を果していこう。

港務所新港分会　吉田持枝

中立であるべき中労委のあつせんも、会社側へ傾き、こんどなおご苦労をされる皆さんに心から同情いたします。

今日は私たち山梨県の教員組合の婦人部が相談いたしまして、衣類を集めてみました。もう少し気の効いた衣類ですと、皆さんに喜んでも頂けると思いますが、私たちも諸物価の値上りで苦労しておりますのでお許し下さいませ。

毛糸物は下着にでもして暖をおとり下さい。

山梨はいま名物のブドーが色づき、美しい風景です。米の豊作で頭を重くかしげております。

学校は運動会の練習や日本母親大会の報告会などで忙がしい毎日を過しております。

お母さん方の近況をお知らせ願えれば幸せでございます。今まで闘つてこられたあの精神で、こんどもがんばつて下さい。

もつと書きたいのですが、組合の仕事、学校の仕事が山積しておりますので、今晩はこれで失礼いたします。

お体に十分気をつけて下さいませ。

生ワクチンを"
母親中心に各地で運動

小児マヒは全国で三千五百名をこえている。例えば東京都では五百円余の注射薬が千円、また三回で五千円にも上つている。だが要ではワクチンの不足でヤミ価一万円を超すという。一方、ソ連から贈られた六百人分の生ワクチンは倉庫に入れられたままという現状に怒つた母親や医師が寒よこせの運動をはじめており、全国各地でワクチン輸入などの請願運動、署名運動がさかんになつてきた。

貧乏人には手が出ぬ

九月二十九日の夜、東京文京区の坂下婦人の集り準備会と大塚診療所共催で「小児マヒをめぐる懇談会」がひらかれた。

参加者は子供づれの主婦を中心に三十人ほどだつた。

「小児マヒには二種あり、一つは脳性で伝染しない。今流行しているのは脊髄性小児マヒで、これはビールスの作用で起こるから、排せつ物により伝染する。風邪のような病状だから熱が下つてのちマヒがくる。片側の足、片側の手、片側の手足などがダラリと下がるのが一番多く、顔面の神経障害や呼吸のマヒもある。生後半年位までは少く、そのあとの一―二才が多く、四、五才までこれがつづく。脊髄の中の神経細胞を侵されるのだから恢復は難かしい。やはりワクチンを用いてビールスのめんえきをつくる予防処置が大事だ」と医師から説明を聞いた。

そのあと、文京区小児マヒ予防対策協議会の人から、文京区ではセツルメント、診療所と区母親連絡会が協力、一万名の署名を集めてさる二十一日代表が厚生省に行き小児マヒ対策を急ぐよう要求したこと、そのさい厚相代理は、米・ソからワークワクチンを輸入して来年一月から予防注射をする。生活保護者には無料、低所得者には四分の一自己負担にするなどを約したが、生ワクチンはまだ検定していないと答えたと報告された。

ゼット機より薬品を

そしてなお、ソ連から送られている六百人分の生ワクチンを早く出すよう、ジエット機一台の製造費八億円あれば、一才から三才までの子供に全部に無料であらゆる伝染病の予防注射ができる、再軍備をやめて子供の命をという意味の署名五万を目標に活動しているから協力してほしいと訴えられた。

以上は文京区の母親たちの活動だが、いまこういう動きが全国に目立つてきた。

各地に署名運動や請願

岩手県の母親たちも小児マヒについての懇談会をひらき(1)各団体で署名運動する。(2)この会を県協議会準備としてこんどの運動をすすめることを決議して、運動に立上ることになつた。

北海道石狩支庁管内町村長会（九カ町村）は、九月二十九日小児マヒについての陳情書を、近くひらかれる全道町村議長会に提案することを満場一致で決議した。

宮城県塩釜市の日ソ協会塩釜支部では、池田首相、中山厚相にたいする「小児マヒ対策促進要請署名」用紙を大量につくつて、全会員と政党、労働組合、民主団体に呼びかけ市民を対象に署名運動を展開、ソ連の生ワクチン、ガランタミンの輸入、国内の生ワクチン増産促進を要請している。

また、北海道名寄市議会では、地区労協、一般労組主婦会、動力車労組主婦会、日通家族会、一般市民など三百二十人による請願を採択した。

このように、小児マヒ予防ワクチンに対する、母親を中心とする大きな運動は日に日に高まつており貧乏人にはとても手の出ない現状のワクチンを、輸入して子供を守るために安く注射させろという声はいよいよ大きくなつてきた。

許広平女史ら
十月下旬に来日

日中友好協会、日中文化交流協会日中婦人交流協会三団体の招きにより、中国婦女連合会から代表団が日本を訪れることになつた。

代表団一行は許広平女史（ろ迅未亡人）を団長とするつぎのとおりだが、訪日時期は十月二十日以降となるもよう。

▽団長、中華人民共和国全国婦女連合会副主席許広平女史▽副団長上海市幼児保健教育委員会主任郭建女史▽秘書長、全国婦女連合国際連絡部長黄甘英女史▽団員、北京区学院第一付属医院副医長蔵仁英女史、全国婦女連合会宣伝教育部長りゆう加林女史、北京師範大学付属女子中学校孫岩女史、河北省婦女連合会副主任李女史、中華全国総工会女工工作委員会委員芦鳳女史、天津市婦女連合会執行委員田淑英女史、人民日報編集部光女史▽通訳、王効賢、韓秋芳の計二十二名である。

× × ×